

国語 文の成分

文の成分には主に五種類ある。

- ① 主語
- ② 述語
- ③ 修飾語
- ④ 接続語
- ⑤ 独立語

主語と述語について

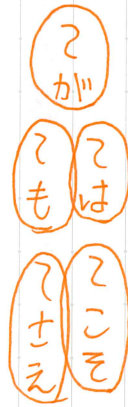
主語

「何がたれが」にあたる **文節** のこと
 この文の主人公は誰なのか、何なのか
 を考え、主人公にあたる文節が主語になる。

述語

主語の動作や状態、性質、存在を述べる **文節** を述語という。
 主語がどうしたのか、何なのか、何をしたのか、どんななのかが述語になる
 (主述の関係という)

！ 主語をさがすときのポイント



という部分を注意深くみる。

主語

例 食事 **さえ** のどを通らない

述語



「**さえ**」の部分を「か」に置き換えることができる
 だから「食事**さえ**」が主語だと分かる。

修飾語について

修飾語：他の文節をくわしく説明する文節

も修飾語、説明される文節を被修飾語という。(修飾・被修飾の関係)

修飾語 被修飾語

例 姉が美しい花を飾る。美しい何なのか。

修飾語には連用修飾語と連体修飾語という
2つの種類がある。

連用修飾語：動作や状態 体言以外
連体修飾語：物の名前、名詞 体言

！被修飾語が物の名前や名詞なら連体修飾語、
それ以外は全て連用修飾語。

接続語について

接続語：文と文、文節と文節をつなぐ
言葉のこと。

接続語	
自立語	しかし、だから、つまり、よって等
付属語	こが、こしながら、こは、このに

接続語

例 寒いから、セーターを着る。

独立語について

独立語：、他の文節とは直接関係なく独立

している文節のこと。

文節の初めにきこ、「や。」で

区切られる。

独立語

例 おはよう。今日予定ある？

おや、はい、さあ、うん、まあ

みなさん、もしもし、いいえ、等

総合問題

① (連体) 修飾語

赤リマフラーをした女性が、前に座る。

主語

述語

独立語

② うん、もう大丈夫だよ。

接続語

③ 晴れたので、散歩に行こう。

主語

(連用) 修飾語

④ 黒い絵の具が少し足りない。

独立語

(連体) 修飾語

(連体) 修飾語

⑤ 三年前、それは私の姉が入学した年です。

修飾語

述語

⑥ 大切な宝物を友人に見せる。